# キングコングの逆襲（1967）

KING KONG ESCAPES

**メディア** 映画
**ジャンル** 特撮　ファミリー
**製作国** 日本
**色彩** Color
**時間** 104分
**初公開日** 1967/07/22

**【解説】**

悪の天才科学者ドクター・フーは、某国の依頼を受けて核兵器製造用の物質・エレメントＸを北極で採掘していた。作業に当たるのは地上最強の怪物キングコングに似せて作られたロボット怪獣メカニコング。だが磁場の影響によりメカニコングが作動不良を起こしてしまう。フーと行動を共にする某国のエージェント、マダム・ピラニアはモンド島でコングと接触していた国連調査隊の一行の誘拐を提案。コングがメンバーの一人スーザンに惚れている事を利用して、採掘作業をコング自身にやらせようと言うのだ。だが採掘現場の放射能の影響で催眠状態から醒めたコングは逃走、後を追うメカニコング共々東京に上陸してしまう……。

『勇者のみ』『フランケンシュタイン対地底怪獣』に続く海外合作作品で東宝創立３５周年を記念して製作。『キングコング対ゴジラ』から５年ぶりに復活したコングだが、身長は２０ｍに設定されており、そのためメカニコングとの死闘は通常より大きなミニチュアセットで繰り広げられた。特にクライマックスの東京タワー上での戦いは臨場感も伴って大きな見せ場となっている。またモンド島でコングと一戦交えるゴロザウルスもメカニコングと並び、デザイン・造型ともに秀逸なもので、多くのファンを感嘆させた。特撮部分のリアルさだけでなく、ドクター・フーとマダム・ピラニアという悪役の設定（天本英世と浜美枝の存在感が圧倒的）がドラマ部の見応えも生み出しており、全体的に大人の雰囲気を持った怪獣映画と言えるだろう。同時上映は『長編怪獣映画　ウルトラマン』。

【登場怪獣】キングコング／メカニコング／ゴロザウルス／大海蛇

**【クレジット】**

| | | |
|---|---|---|
| **監督** | 本多猪四郎 | |
| **製作** | 田中友幸 | |
| **脚本** | 馬淵薫 | |
| **撮影** | 小泉一 | |
| **美術** | 北猛夫 | |
| **編集** | 藤井良平 | |
| **音楽** | 伊福部昭 | |
| **特技監督** | 円谷英二 | Eiji Tsuburaya |
| **特技・撮影** | 富岡素敬 | |
| | 真野田陽一 | |
| **特技・美術** | 井上泰幸 | |
| **特技・合成** | 向山宏 | |
| **アクション** | 中島春雄 | |
| **出演** | ローズ・リーズン | カール・ネルソン司令官（エクスプロアー号艦長） |
| | 宝田明 | 野村次郎（自衛隊一尉） |

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.

| | | | |
|---|---|---|---|
| | リンダ・ミラー | Linda Miller | スーザン・ワトソン（看護婦） |
| | 浜美枝 | | マダム・ピラニア（アジア某国諜報部員） |
| | 天本英世 | | ドクター・フー |
| | 沢村いき雄 | | モンド島の老人 |
| | 堺左千夫 | | フーの助手 |
| | 田島義文 | | フーの助手 |
| | 草川直也 | | フーの助手 |
| | 桐野洋雄 | | フーの助手 |
| | 黒部進 | | フーの手下 |
| | 伊吹徹 | | フーの手下 |
| | 鈴木和夫 | | フーの手下 |
| | アンドリュウ・ヒューズ | Andrew Hughes | 国連新聞記者 |
| | 北竜二 | | 警備本部長 |
| | アル・クレーマー | | 国連新聞記者 |
| **声の出演** | 田口計 | | カール・ネルソンの声 |
| | 山東昭子 | | スーザン・ワトソンの声 |

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.